

# 洛友会会報

京都市左京区吉田本町  
京都大学工学部  
電気工学科教室内  
洛友会

鳥養会長は本年八十五才になりましたが、益々御元気で、殆ど毎日応用科学研究所に御見えになり、又毎月十二日頃には、御上京になり学士院に御出席、重要会議を主宰されて居ります。次号には、今年度学士院賞を受賞された前田憲一教授の記事を御願ひして居りますが、本号には昭和四十七年二月十九日に鳥養先生が京都新聞に御寄稿になった随感を、転載させて頂きました。私共にとっても非常に示唆に富み、これにより先生の御近況を、会員の皆様に御知らせする次第です。

## 先生からの年賀状

洛友会会長 鳥養 利三郎  
大正元年卒業

人間というものには、同種同類としての、独特の容姿があり、さらにはまた、その人によって生まれた人相があって、同じ者をさがし求めても到底何から何まで、全く



同じで、区別をつかないいきうつしというようなケースは、絶対にないらしい。幾万という多数の中から、こういう人をと、選び歩いても、まずできないことらしい。もう少し細かくいえば、こういう顔が好きでたまらない、あれは見るのもいやでたまらない、などという、デリケートな区別まで来ると、問題にならない。その揚げ句の果てに、どれくらい運命にまで追いつまされる者も少なくないらしい。

い。このような見分けが、相見た瞬間に即座につくというのは誠に不思議であり、またかけがえのない、尊いことだ、とつくづく感心いたしている。

それはそれとして、人間の生涯というものは、わからずじまいに推移してしまうのが常例のようにも思われる。昨今街頭に見られる、神武時代への再来でないか、と思われる服装のごときは、一体どういふ根拠から生まれて来たのか、あるいは服装として美しいとか、行動に便利だとか、またそんなことはどうでもよい、いやになつたら、いつでも捨ててしまえばよい、というのであろうか。現実の問題として、そう簡単に運べるものではないであろう。社会に活動力がある限り、衣食住いずれも時に応じて推移するにちがいない。現在はこれであり、としても、三年さき五年さきには、どうなるのか。人間に活動力がある間は、いずれにもついて行けよう。が、いったん無力化したあかつきには、他国他民族の助けを乞(こ)う以外に生きる方途は、なくなるのではないか。今日神武服装で活歩している連中は、ポロに身を包んで、あわれみを乞う身に転落せざるを得ないのではないか。わたしは、かつて、わたしの中学校時代に教えをうけた小神野芳

太郎先生が、当年百四歳の長寿を保たれつつ、しかも心身共にご健康で、社会のため、後輩のためにご活動をつづけて居られるのを、この「随感」に書かせていただいたことは、読者諸君にも、記憶に残って居られることであろうと思う。去る一月十六日付けで先生から、昨今のご起居の様子などを兼ねた年賀状をいただき、さすがにのん気なわたしも、自分の歳

(とし)を忘れて「何、わたしも一つ」と奮起しようという気になったものの、それにしても、折角、静かに想を練つて居られる先生には、なるべくごめいわくをかけたないようにすべきだ、と思ひなおして見たり、とかくの末に結局お力を借るのが最上策であろうというにおちつき、先生の年賀状の一部を拝借させていただくことになつてしまつた。

- (一) 老来碌々守誠信 無事消時世外身  
玉食錦衣何所望 独甘余是説書人
- (二) 鉢の花たがむしりに困りたる  
いたつらつ子の顔のおかしさ
- (三) ながにがし若き男のおみなぶり  
髪長くして化粧赤シャツ
- (四) 負へる児かああと指さす老松の  
枝にかかりて泳ぐ風船
- (五) 紅のもみちにうすき霜みれば  
冬も心をおきて立ちけむ
- (六) いたいたし松のしつ枝の雪折を  
はや手当せよ人ならねとも
- (七) 庭に来て戯むれ合ひしその雀  
一つだに来す農桑の罪
- その他三

一言書きそえさせていたただいたことは、お手紙の文句も書体もいずれも、百歳をこえた老人のものせられたものとは、少しも見えないことである。わたしは封書をはじめて手にした時、これは若い人の代書したものと、うけとって見た。よくよく拝見すると、先生のご自筆とわかつた。文字などに少しも「ふるえ」などが無い。誠にしっかりとっている。この二・三か月間、少々忙しくて、「随感」の執筆ができないのではないかと、心細くなりつつあったところへ、先生の詞歌をいただいたので、失礼とは知りつつ、

### 教室の現況と

## 卒業生の就職状況

京都大学教授 近藤 文治  
昭和十八年卒

拝借させていただいた。お許しを  
願います。それにしても、私  
本当によい先生に恵まれた、しあ  
わせ者である。

昭和四十六年度も終わりに近づ  
き、教室でも年度末を迎え、多忙  
な毎日が続いています。

ここ二、三年新聞紙上を賑わし  
た大学紛争も、その根本的な解決  
は、問題が問題だけに、そう短時  
日に行なわれる筈もありません  
が、少くとも表面的には漸く平静  
も取戻した感がありました。しか  
るに、今年初頭に決まった昭和四  
十八年度の国家予算の政府原案  
に、授業料の三倍値上げが織込ま  
れるや、丁度授業も終わり、期末  
試験期に差しかかるということも  
あって(試験というものは洋の東  
西を問わず、いやなものであつ  
て)授業料値上げ反対を名目に、  
各学部の学生はストを決定し、工  
学部も他学部にも追従して、一月二  
十六日の学生大会で三、四回の長  
期ストを決議し、授業続行不可能  
となりました。その後、三月十日  
に至り、四回生のみストを解除、  
三回生は三月末までストを継続す  
ることを決議しました。目下四回

生については残っている期末試験  
および特別研究の試験を行なつて  
いますが、卒業は例年より遅れ、  
三月三十一日付の予定です。しか  
し、追試験を受けなければならな  
い学生の卒業は四月となり、その  
ため何人かの学生は、大学院入学  
内定や就職内定を取消されるとい  
う事態が生じることが予想されま  
す。年度末近くになってこのよう  
な不祥事を生じましたことに対  
し、教官一同はその指導の至らな  
かったことに強く責任を感じ、こ  
の経験を今後の学生指導に活して  
行きたいと存じます。

なお、大学院学生はストなどは  
一切なく学年暦通り行事は進んで  
います。

つぎに昭和四十六年度卒業学生  
の就職決定状況についてご報告致  
します。今年度は経済界にとつて  
実に多難の年であり、年度初めに  
既に繊維工業や電子工業界は不況  
の嵐に見舞われていて、特殊の分  
野を除いて、電気業界全体とし

て、前年度に較べ採用人員は控え  
気味のようにありましたが、五、  
六月期の大学院修士および学部学  
生の就職斡旋はお蔭で極めて順調  
で、不況の影響は殆ど感ぜられま  
せんでした。ところが八月ドル・  
ショックに見舞われ、九月上旬の  
大学院入試終了直後から開始され  
た九、十月期の学部学生の斡旋  
は、まともにドル・ショックの波  
をかぶり、各会社も先の見透しが  
全くない一種の恐慌状態の下で行  
なわれたものでありましたが、各  
社のご好意により、就職希望者全  
員の斡旋を十一月に至って漸く終  
りました。九、十月期の斡旋の  
とき、貴学の学生でしたら：  
：“という言葉を各方面から聞か  
され、京都大学の有難さをしみじ  
みと感じた次第です。それでもさ  
すがに入社試験で落されるものも  
相当あり、五、六月期が順調(他  
の大学では必ずしもそうでなかつ  
たことが後でわかりましたが)で  
あっただけに、ドル・ショックの  
影響を如実に味ったことになりま  
す。

さて以上春、秋二回にわけて行  
なわれた就職内定の状況を総括し  
ますと表の通りであります。表に  
は大学院博士課程終了者が示され  
ていませんが、これは数も少なく  
特殊でもありますので、全体の傾  
向その他を見るには不相当と考え

昭和46年度学生就職状況一覧

種別	学部	大学院(修士)	就職先
官公庁・大学	3	1	京大, 電総研, 京都市
通信・報道	4	8	電々公社, 国際電々, NHK, 朝日放送
交通・運輸	4	4	国鉄, 近鉄, 阪急, 南海, 阪神, 京阪, 名鉄
電力・ガス	13	5	関西, 中部, 東京, 北陸, 中国, 四国, 九州各電力会社, 大阪ガス
総合メーカー	11	12	日立, 東芝, 三菱
強電総合メーカー	2	1	富士電機, 明電舎
弱電総合メーカー	16	7	日電, 富士通, 沖, 松下, ジャープ, サンヨー, ソニー, ビクター
弱電専門メーカー	8	0	日本信号, IBM, 日本電装, 日本計算機, 日本ビジコン, 東京電気化学, 日立金属
精密工業	2	1	島津, 諏訪精工, 森田
電線工業	3	3	住友電工, 古川電工
機械工業	3	0	三菱重工, トヨタ自工, 住友重機
製鉄工業	3	2	住金, 川鉄, 大同
その他	3	0	東洋情報システム, 日本ビジネス, 伊藤忠
進学	57	8	
合計	132	52	

# 技 術 英 文

電気通信協会  
昭和十三年卒  
平 野 進



たからです。今年度の特徴としては、表からも分かりますように、電力会社および電鉄会社に就職したものが非常に多く、前者の場合は、北海道および東北電力を除く他のすべての電力会社に、また後者の場合は、関西五私鉄会社、その他に就職する学生がでたことです。一方、昨年と比較すると製鉄関係が半減し、繊維、化学関係は全滅であるなど、経済界の動きにかなり敏感に影響されています。

今年度より就職斡旋における主任のアドバイスを強化し、特定会社に集中することを極力避けるように勤め、ある程度効果を挙げたと存じます。今後もこの方針は継承されることと存じますのでよろしく願ひ申し上げます。一方、ドル・ショック以後の経済界の変動を考えますと、四十八年度に不安は全くないとは言ひ切れません。今後も相変わらずご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上甚だ簡単ではありますが、最近の学生ストの現状と四十六年度の学生就職決定状況をご報告申し上げます。

最近、論文や技術資料を英文で書く機会がとみに増した。しかし、現実には我々が見受けるそれらの英文の質は、決して満足できる質のものではない。

従来、その品質は、もっぱら訳者の能力、著者と訳者との協力、および添削者や編集者の熱意と能力にかかっていたので、よい英文が生れるのは、どちらかといえば偶然の出来事に近かった。研究所報告や学会誌の英文の質は、非常に不安定なものであったし、また常に変動している。

たまたま電々公社電気通信研究所で英文研究報告を編集する仕事を命じられた時以来、私は如何にして組織的に英文作成能力を高めるべきかを考えるようになった。さらに海外で技術協力に従事した

経験をもとにして、具体案を「技術英文のすべて」丸善としてとりまとめた。日本物理学会「Journal」をよくするために「のほか多々の方々の研究結果をとり入れさせて頂いたり、御協力をえたりして出来上がった本は、幸い好評を博している。この二月末二度目の改訂を終えて、内容も六〇〇頁近くになった。

これから国際社会に働く人々は、私の本に書いてある程度のこととに三〇才で通じていなくてはならない。英語を書いたり話したりすることは、この程度の基礎の上になさるべきであり、私自身漸くその道では小学校に入ったばかりという感じがする。他人の書いたものについて、これはおかしいぞとかなりはつきりつかめるのだが、さて自分が書くとなるとまるで分からぬことばかりだ。

さて、よい英文が書けるようになるには、自分の貧しい経験を通じて次のことが必要といえる。

一、日本語を大切にす。

(1) まともな日本語を用いる。

(2) 曖昧な概念しか対応しない言葉は使わない(排除すべき例 よろしく取計らう、情報化社会)。

(3) ひとまず徹底的に明確一義的な修飾・表現をする。

(4) 構成 (approach) と論理の流れ) と表現 (とくにその重点とバランスと正確さ) に工夫をこらす。

(5) 要素自体(章・節・項・節・品詞) 相互の間に快い緊張・調和・流れを創り出す。

二、発想法の相違を自覚している。

はじめから英文で書きおろすことが発想法のちがいを解消する最善の方法である。和文原稿を英訳するしか方法がないときは、

(1) 著者自ら訳す。

(2) 第三者に翻訳を依頼する場合は、訳者が内容を誤解しないように慎重綿密な註釈をつけた上で、日本語構文を離れて訳すように注文する。訳者が英語的発想法に従って訳せる人かどうかは予めテストしておく。

三、言葉の本質に対する理解を深める。

Wer fremde Sprachen nicht kennt, weiss nichts von seiner eignen.

(1) 言葉は文化の舟といわれる。文化の所産としての国語を把握しなければ、日本語も外国語もわかる筈がない。

(2) 日本語でものを観たり考えたり書くことと、英語でそれらを行なうこととはどうちがうのかを考える。

(3) 「同じ言葉が、どのように異なる概念に対して用いられているか」「言葉と言葉との相対関係が、日本語と英語ではどうちがうのか(名詞の例では、water と水、method と way)」を研究する。

(4) 文法(文を構成する原理「各品詞結合の原則とそれらの機能」を比較する。

(5) 意味のふくらみをつかむ。「社会認識の歩み」は、「社会認識(歴史認識と現代認識)の歴史」という意味と「社会認識の作業」という二様の意味にとられるが、著者としては二様の意味をこめて用いることも出来る。助詞「の」が機能「を」を荷いえるから後者のような用法も可能になるのである。日本語として、ふくらみのある言葉だけに英訳は難しい。

経済協力開発機構 OECD の環境委員会は PPP (Polluter-Pays-Principle) 「公害を発生

させた企業が汚染防止費用を支払え」の国際ルールを確立しようとしている。Polluterには道徳をけがす者という意味もある(四七・二・九朝日)由であるが、そうするとこの標語は日本語には訳しつけない重みを帯びてくる。

「市民社会を母体にした道徳」の眼の敵しさを想うのである。

四、立派な英語をかくことを目標にする。

「立派な」は「格調の高い正確簡潔な」「実用目的に最も適し親しみやすく平易な」という意味である。

- (1) 日本人だから少々のことは見逃してもらおうという風な気持を断つ。
- (2) よい辞書を活用する。
- (3) 日頃から立派な文章に親しむ。
- (4) 自覚した合理的な勉強法を友人とともにとる(相互協力が非常に有効)。

最後に、わが国にはよい「科学技術用語の用例辞書」がないのはまことに残念であるというほかにない。研究社の勝俣銓吉郎著『New Dictionary of English Collocations 新英和活用大辞典は英作文をする人が、片時もはなせない立派な辞書であるが、残念ながら科学技術

用語が殆ど集録されていない。「ターミナルに線をつなぐ」こんな簡単な文でも、本当に正しい表現は何かといわれるとなかなか難しい。勝俣先生は一生をかけてこの辞書をお作りになった由であるが、学術の進歩の早さを考えると、この辞書は着手して四年目には出来上がり、以後四年毎に改訂可能な形式でなくてはならないし文例は色々の方向から glosses できるものでなくてはならない。B5版一七〇〇頁、三〇、〇〇〇文例

### 原子力発電の動き

四国電力(株) 近藤 耕三  
昭和二十八年卒



洛友会だよりにのせられる諸先輩のお話を、いつまでも若いつもりで拝見してきましたが、いつの間にか私も二十年前の卒業生になっていました。洛友会だよりに寄稿するなどんでもないことと想ったのですが、若いことは若い、あまり若くもないと思ひ直して、命ぜられるままに筆をとることにします。

索引語一二〇、〇〇〇として一〇、〇〇〇部つくるのに七、〇〇〇万円位かかりそうである(改訂は極めて経済的に出来る)。色々な方面に出資をお願いしてみるのであるが、趣旨については反対される方はないが、金額が二桁大きいとおっしゃる方ばかりである。用語用例辞典が出来ないと、社会の技術英作文成能力は絶対に向上しないと断言してもよい。

諸兄のおちえを拝借できればと切に想う。

昭和三十五年は、私にとって、それまで学んだこともない原子力発電への転出を命ぜられた年でした。その頃日本の原子力は東海発電所の建設がようやく軌道にのったばかりで、洛友会員としては、文字通り日本の原子力発電の草分けにあたる一本松珠璣原電会長以下ほんの僅かに過ぎませんでした。洛友会名簿を受取る度に、一種の寂りようを覚えたのを思い出します。

今、その後の変化はいかにと、新しい名簿をひらいてみますと、電力関係だけでも多くの先輩後輩が原子力の分野に名をつらねられ、正に多士齊々の感があり、私

よりももっと早くから原子力を手がけられた先輩方はおそらく今昔の感を深くされるに違いないと思います。

その原子力発電ですが、全く色々のことがありました。一本松先輩がその著書で、黎明期のいきさつを詳しく語っておられますが、私の経験した敦賀発電所建設の十年間をとってみても、楽観悲観ごもごも現われ、原子力ブームは寄せては返す波の如く、私共をもてあそんでくれました。そして今なお多くの試験の波をかぶりつづけているように見えます。

もともと、このような表面的な変化は、かなり実態をはなれて勝手に浮き沈みしているもの、その実、その中に居る人達にきびしい影響を及ぼしています。敦賀発電所の建設が終った時、一般には成功と受取られたと思います。その成功の背景には、いくつかの原因が当然ひそんでいました。しかし、建設関係者の一人として私が痛感したのは、表面にあらわれた結果だけから来る世間の評価のきびしさでした。と申しますのは、私の知る限りでは、原電の技術陣が敦賀に注いだ努力が、東海発電所への努力にくらべて決して大きかったとは思えません。むしろはるかに多くの努力を払い、それに比例した成果をあげながら

ら、東海は芳しい評価を与えられませんでした。ところが、東海でいわば見捨てられていた能力が形を変えて敦賀の建設結果にあらわれると、今度はよくやった、成功だと認められる、そんな感じがいたしました。ともかく、これでやっとな並みになったと、当時私は原電の若い技術者と喜び合ったものです。確かに、札幌オリンピックのジャンプのように、うまく飛ばばいいですが、でなければこっぴどく批判される、これが世の常なのでしたが、少くともこれらの原子力発電の将来をうかがうにあたっては、世間の評価にうごかされないことが大切だと思われ

ます。

さてそれでは、今日の原子力発電はどう見るべきでしょうか。私はやはり、世間の評価をただすことが最大の難関のように思います。検出感度ぎりぎりの放射能が袖についておれば、たちまち「放射能男街を歩く」と騒がれ、基礎実験の結果が予測計算値と異ったといえ「欠陥原子炉」の烙印がおされ、多くの立地点では、すべての生物が減じ、発電所の温排水が熱水と称されて海を汚染しているかのような噂がまことしやかに流される状態がまだ続いています。

このような状態を健全と呼ぶか



どうかはともかくとして、少くとも実際をはなれた部分だけは修正する必要があると思います。さもないと、原子力にたずさわっている人達が不当な扱いを受けるだけでなく、国民的な意味でも将来を誤まるおそれがある、といったら少し大袈裟でしょうか。しかし、この修正は容易なことではありませぬ。少くとも、かなりの時間を要することは避けようがありません。

このように思いやって、これからの長い悪戦苦斗を想像しているのに、最近のアメリカに見られる火力から原子力への急激な傾斜は正に驚きです。その原因をたずねると、大気汚染の規制強化と油の値上りによるものとのことです。そんなに深刻なものと半ば呆れませんが、そうならば、いづれ日本でも同じ事態が見られるかも知れません。益々原子力は騒がしくなるでしょう。しかし、それと共に、原子力に多くの技術者が乗出してくるに違いありません。とするとたとえ長期にわたると、続々増加しつつある洛友会員の皆さんの手によれば、案外早く懸案が解決されるのかも知れません。過去の十年の経過がつづくとしたら、十年先には洛友会名簿にどれだけの原子力関係者が現われるか、期待して待つことにしたいと思います

会員白坂勇城氏（電講大正十一年卒）は、病氣療養中のごとく昭和四十七年二月二十六日御逝去になりました。氏は電氣講習所卒業の大先輩で、洛友会のため長年にわたり御世話を頂いたので、洛友会より供花をおくり、告別式には松田長三郎先生をはじめ、会員が多数列席されました。以下に友人を代表し、白坂氏の追悼の記事をのせ、氏の御冥福を御祈りします。

（立石亨三記）

### 故白坂君を憶う

友人代表 中 本 徳 次  
（電講昭和三年卒）

昭和四十七年三月四日、その日は朝から北山風が冴え返って、時折り氷雨を交えた小雪が乱舞していた。白坂君の葬儀に花園妙心寺にかけつけた私には、ピリッとした一種の緊張感はあるても、友と葬るといふ気分にはなれなかつた。久し振りの同窓生先輩の顔の間から「ア、来て呉れたか……」と東北なまりを江戸ッ子調に託した白坂君独特の元氣な声が飛び出してくるように思えてならなかつた。

忙しそうに動き廻る君の姿がちらついていたまらなかつた。然し、とうとう君は逝つたのだ。読経の進んだ式場では、やがて妙心寺管長、福井葬儀委員長、高野友人代表の弔辞が読みあげられ、次いで石清水八幡宮田中文清宮司、総本山仁和寺門跡森諦門師、大本山中山寺管長石堂恵俊師等の弔電を始め、各地各界からの弔電が読み上げられていった。技術家にしては宗教界に尽した点は偉材であつたことが忍ばれる。而して、その間引きも切らぬ会葬者の数……。

私は思った。之は甚の電氣屋のものじゃない。白坂君の真骨頂が此処に現われているのだという事。どこ迄も心のこもつた人の世話、報酬を求めず、その反応も考えず、只ひたすらによかれと思ふ事をどこ迄も押しすすめて行つた彼、それは勿論同窓生の交わりに止まらず、仕事の面、文化財保護の面、何れにも変わる事なく、真情をもつて貫かれていた。

君の死、それは余りにも切なく、淋しい、而して惜しい。然し人間の寿命が夫々その人の持つて生れたものとすれば、家庭の後の心配も露程もなく、君が接した凡ての人達に惜しまれつつ逝く事のできた君は本当に幸せであつたと言える。

思えば昭和四年、私が電氣教室に奉職してから君との交わりが始まった。いつも何かと心の支えを与えてくれた人……、今は亡き関野先生や中園兄、白坂、森、中本と膝を交え、腹の底からつきあわせて貰つた数々の思い出、戦争に突入してから、お互いの生活と仕事の関係で相会う機会が少なくなつたが、会えば昨日別れた兄弟のように、その間の時の流れを少しも感じなかつた。昨年同窓会久々の会合を持ちたいということではを過した。同窓生誰彼の場合を真によく知り、色々と話がつきなかつた。私は関野先生、晩年の面影を君が姿に重ねて見る思いだつた。然し、然し、君はもう逝つてしまつたのだ。思い浮かべる丈ではのぼのとした温情を感じる人、戦後私が島津で電氣師関係の責任者として走り廻つていた頃、日立にも度々出向していたので、小宮さんに一度お会いしたいからと紹介状を書いて貰つた。然し段取りがつかず、そのまま一、二年を過ぎてしまつたので紹介状を開いて見た事があつた。実弟のように心からつきあつてる中本君を紹介する云々に始まつたその書面は、実にしみじみとした心をうつものであつた。

の性格、いやらしさのない親分はだ……。それには若い時の諸先生の影響もあるが、彼自身の天性に、磨きかけたものであるうか私は思う……。白坂君は逝つた。然し、私達には君に接した凡ての人々には、いつ迄もいつ迄も生き続けて行くであらう……。と。

今日は友人代表ということで敢えて白坂君呼ばわりで書いた、お許しを願ひ、一抹の淋しさをかみしめながら心から冥福をお祈りする。

### 会費値上げに就いて

去る一月二十九日、洛友会常任役員会を開催しました際、昭和四十七年度（四月一日より）より会費の値上げに就いて、左の如く定め、予め承認を得ましたので御通知各々各位の御諒承を御願ひ申し上げます。

洛友会会費 一千円（従来七百円）  
支部会費 五百円（従来通り）

### 訃音

- 大8 高見 祥平 47・2・19
  - 大12 松本 弘 46・10・14
  - 大14 谷 忠篤
  - 昭3 浜崎 諒 47・
  - 昭12 稲田 豪吉 47・3・3
  - 講大11 白坂 勇城 47・2・26
  - 講大14 久我 頼道 46・1・18
  - 講大15 香川 清一 47・1・8
- 以上の方々のご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

# 昭和四十七年度

## 洛友会総会のご通知

一、日時 昭和四十七年五月二十一日(日) 正午より

一、場所 京都市中京区油小路二条下ル

京都国際ホテル(電話二二二一一一一番)

一、日程

○午前十一時より、京都大学電気系教室見学(希望者のみ、京都駅よりバスにて案内、希望者は葉書にてお知らせ下さい)  
○正午より関西支部総会  
○十二時三〇分より 洛友会総会  
○午後一時より 懇親会  
○午後二時 終了

一、会費

○終了後 二条城見学(希望者のみ、希望者は葉書にてお知らせ下さい)  
○正午より関西支部総会  
○十二時三〇分より 洛友会総会  
○午後一時より 懇親会  
○午後二時 終了  
○終了後 二条城見学(希望者のみ、希望者は葉書にてお知らせ下さい)  
○正午より関西支部総会  
○十二時三〇分より 洛友会総会  
○午後一時より 懇親会  
○午後二時 終了

会費は、別紙振替用紙をもってお払込み下さい。  
なお、これをもって総会並びに懇親会出席御通知に代えますから、五月五日までに到着するようにお送り下さい。  
本会合には、御家族同伴、新会員を歓迎することになっていきますから多数ご参加下さい。

### 電気工学講習所時 代の同窓の集り

電気工学講習所同窓生は久振りに全国的に会員に呼びかけをして、昭和四十六年十一月六日(土)に京都市東山区粟田口三条坊(円山知恩院北入)楠荘で集会をした。



来賓として、鳥養利三郎、松田長三郎、山本茂雄諸先生方の臨席を得て、先づ物故された恩師十七柱を始め、先没同窓各位の慰霊祭を仏式で営み、その後席を懇親会に移し、先生方に回顧談を願い、なつかしい雰囲気になりました。続いて用意された祇園名妓の伴奏によって舞妓の祇園小唄・京の四季を欣賞して宴は盛んになり、その半ば九州、四国、中国、東京、名古屋等の各地から、はせ参じた遠来の学友が、何十年振りかの自己紹介と昔話等に花を咲かせ、盛会裡に宴を閉じた。

会する者九十八名で、かねて用意された名譽教授諸先生方の御寄書の色紙を記念品として配布し、又特に記念写真を撮影したが、並んだ同窓生の顔と氏名とをあとからはつきり判る様な

名簿を添えるために、工夫して並んで貰い、写真の撮影等も行なった。(立石亨三記)

### 編集後記

昭和四十七年度の学年初めを迎え、四月会報を発行しました。鳥養会長の近況を御知らせすると共に、総会の通知、会費値上げの通知等をのせました。

此の前に発行した会員名簿に誤りが多いとの御小言を頂戴して居りますが、次回より十分注意しますので、御寛恕を御願いします。(幹事山本記)

### 4月号特集

#### 最近の火力発電

目次内容

- 建設と自動化
    1. 百万KWユニット機器の開発
    2. 大容量ガスタービン発電設備の建設
    3. 火力発電所の自動化
  - 運転と保守
    1. 火力発電所の事故と防止対策
    2. 変圧運転
  - 自家用火力の動向
 

■最近の環境改善対策

    1. 排煙脱硫
    2. 温排水
- 右記特集記事の他【一般論文】  
【シリーズ】【評論マンスリー】  
【最近のトピックス】など
- 株式会社 電気評論社